

熊本高等専門学校人研究倫理審査委員会議事要旨

日 時 令和8年5月25日(月) 14:00~14:35

場 所 熊本キャンパス：大会議室、八代キャンパス：大会議室

出席者 (熊本キャンパス) 小田川委員長、中島委員、葉山委員、永野委員
(八代キャンパス) 田中禎一委員、田中裕一委員、村山委員、清永委員

申請者 清田教授

議 事

議題1

「フレイル改善のための M5 スタックちゃんを用いたコミュニケーション支援システムの開発」における倫理審査

清田教授より、申請書及び同意書(案)に基づき本研究の説明がなされた。

説明後、以下の質疑応答等がなされた。

・被験者の募集方法について質問があった。先行類似研究と同様に募集は NPO 法人等が行い、清田教授が面談を行う旨の説明があった。

・事前アンケートについて質問があり、昨年度学生から取ったものはあるが、あらためて高齢者などから取るとの説明があった。

・評価実験期間が7月から3月と長い期間行う必要があるのか、またその間スマートウォッチを身に着けるのかという質問があった。システム開発を含めて7月開始としている。

・怪我などで損害賠償になる可能性はあるかという質問があり、スマートウォッチを付けるくらいなのでほぼ無いとの回答があった。

・M5 スタックちゃんが間違った情報を被験者に伝えてしまうような法的、倫理的な問題が起こった場合の対応について質問があった。スマートウォッチのデータを今回開発するインターフェースを介して市販品のスタックちゃんに送り AI が学習して被験者へ情報を伝える仕組みであり、スマートウォッチのデータ検証に加え、医療行為とならないよう AI に学習させる段階でも十分検証を行う、との回答があった。

・スマートウォッチの使用場所について質問があり、自宅など研究者が不在の場所で使用することは無い、との回答があった。

審議の結果、次のとおり判定した。

判定 **【条件付き承認】**

条件 ①申請書4(12)に「実験に使用する機器について事前に十分な検証を行い、実験は研究代表者が判断できる場所で実施する。」を追記

議題2

「支援機器操作性向上を目指した QR 手順カードによる ICT 教材の個別設定支援の研究」
における倫理審査

清田教授より、科研費課題として採択された本研究について審査チームから倫理審査を受けるよう指示を受けた旨の報告の後、申請書及び同意書（案）に基づき本研究の説明がなされた。

説明後、以下の質疑応答等がなされた。

・障がい者は対象となるのかという質問に対し、今回開発するツールの対象としては先生であるが、全体の評価実験として障がい者に KME スイッチを使用してもらいデータの違いを確認することも研究の一つである。

審議の結果、次のとおり判定した。

判定 【承認】

以上